

表 1 平成 19 年度アスベスト大気濃度調査結果

【石綿繊維数】

地域分類		地域数	地点数	測定データ数	石綿繊維数 ^{※3}		
					最小値(本/L)	最大値(本/L)	幾何平均値(本/L)
発生源 周辺地域	石綿製品製造事業場等 ^{※1}	2	8	16	0.12	0.89	0.34
	廃棄物処分場等	10	20	38	0.10	4.42	0.44
	解体現場(敷地周辺) ^{※2}	10	40	40	0.06未満	17.56 ^{※4}	0.41
	蛇紋岩地域	2	4	8	0.19	0.92	0.42
	高速道路及び幹線道路沿線	6	12	24	0.19	1.49	0.52
バックグ ラウンド 地域	住宅地域	7	13	26	0.10	0.75	0.33
	商工業地域	5	10	20	0.07	1.61	0.26
	農業地域	1	2	4	0.20	0.61	0.40
	内陸山間地域	4	7	14	0.09	0.84	0.38
	離島地域	4	8	16	0.09	0.94	0.33
合計		51	124	206			

(参考)排気口等における調査結果	地域数	地点数	測定データ数	石綿繊維数 ^{※3}		
				最小値(本/L)	最大値(本/L)	幾何平均値(本/L)
石綿製品製造事業場等(出入口付近) ^{※1}	(1)	1	2	1.42	1.49	1.45
解体現場(前室付近) ^{※2}	(10)	10	10	0.11	10.58 ^{※4}	0.67
解体現場(排気口付近) ^{※2}	(10)	10	10	0.11	4.00	0.52
合計		(11)	21	22		

※1 「石綿製品製造事業場等」とは、大気汚染防止法の規定に基づく特定粉じん発生施設を設置する工場・事業場、又は石綿を取り扱う事業場を意味しています。また、その「出入口付近」とは、これらの工場・事業場の建物の出入口の外側を意味しています。

※2 「解体現場」とは、建築物等の解体、改造または補修作業現場を意味しています。また、「敷地周辺」とは、解体現場等の直近で一般の人の通行等がある場所との境界、「前室付近」とは、作業員が出入りする際に石綿が直接外部に飛散しないように設けられた室の入口の外側、「排気口付近」とは、集じん・排気装置の外部への排気口付近を意味しています。

※3 石綿繊維数は、光学顕微鏡法により分析した結果です。(捕集フィルターにクリソタイルと同程度の屈折率の不揮発性液体を浸した後、同一視野を位相差顕微鏡と生物顕微鏡でそれぞれ繊維数を計数し、各計数結果の差を石綿繊維数とするもの。)

※4 表記の値は同一解体現場で計測されたものであり、分析走査電子顕微鏡法を用いて繊維の種類を確認したところ、捕集された繊維は、石綿繊維ではなく有機物繊維であることが判明しました。

注1) 各地点の石綿濃度の評価に当たっては、平成元年12月27日付け環大企第490号通知「大気汚染防止法の一部を改正する法律の施行について」に基づき、注2の場合を除き、各地点で3日間(4時間×3回)測定して得られた個々の測定値を地点ごとに幾何平均し、その値を当該地点の石綿濃度としています。

注2) 解体現場等においては、解体等の工事には短期間で終了するものがあるため、各地点で1日間(4時間×1回)測定し、その測定値を当該地点における石綿濃度としています。

注3) ND(不検出)の場合には「計数した視野(100視野)で1本の繊維が計数された」と仮定して算出した値に「未満」を付けて記載しています。

注4) 表中の()内の数値は地域数における内数です。

表 2 過去と同一調査地域における平成 19 年度調査結果

地域分類	地域数	地点数	測定 データ数	最小値 (本/L)	最大値 (本/L)	幾何平均値 (本/L)
石綿製品製造事業場等	2	8	16	0.12	1.61	0.38
廃棄物処分場等	3	6	12	0.10	0.73	0.33
蛇紋岩地域	2	4	8	0.19	0.92	0.42
高速道路及び幹線道路沿線	6	12	24	0.19	1.49	0.52
住宅地域	7	13	26	0.10	0.75	0.33
商工業地域	4	8	16	0.07	0.55	0.20
農業地域	1	2	4	0.20	0.61	0.40
内陸山間地域	3	5	10	0.22	0.84	0.42
離島地域	1	2	4	0.22	0.73	0.40
合計	29	60	120			

注) 各地点の石綿濃度の評価に当たっては、平成元年 12 月 27 日付け環大企第 490 号通知「大気汚染防止法の一部を改正する法律の施行について」に基づき、各地点で 3 日間(4 時間×3 回)測定して得られた個々の測定値を地点ごとに幾何平均し、その値を当該地点の石綿濃度としています。本表では、地域分類ごとの石綿濃度の最小値、最大値及び幾何平均値を記載しています。

表 3 過去と同一調査地域における調査結果の比較
(平成 7 年度、17 年度、18 年度及び 19 年度)

地域分類	幾何平均値(本/L)			
	平成7年度	平成17年	平成18年	平成19年度
石綿製品製造事業場等	1.04	0.38	0.18	0.38
廃棄物処分場等	0.47	1.16	0.35	0.33
蛇紋岩地域	0.64	0.30	0.28	0.42
高速道路及び幹線道路沿線	0.34	0.53	0.39	0.52
住宅地域	0.11	0.30	0.22	0.33
商工業地域	0.18	0.23	0.27	0.20
農業地域	0.47	0.13	0.40	0.40
内陸山間地域	0.24	0.20	0.36	0.42
離島地域	0.21	0.11	0.31	0.40